

会議録（案）

会議の名称	平成29年度 第5回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成30年1月15日（月） 午後7時から午後8時55分
開催場所	保谷庁舎 別棟A会議室
出席者	委員：赤澤委員長、廣瀬副委員長、有賀委員、岸上委員、中平委員、西田委員、山本委員、島田委員 事務局：栗林文化振興係長、圓田文化振興係主事
議題	1 平成29年度第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について 2 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（速報値）について 3 文化芸術に対する意識調査（インターネット調査）について 4 「平成29年度施策・事業評価（平成28年度分）」調査結果について 5 その他
会議資料の名称	【配付資料】 資料1 平成29年度第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案） 資料2 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（速報値）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>《開会》</p> <p>1 平成29年度 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について</p> <p>○委員長： ・議事録については、特に意見がないため、確定とさせていただきます。 <全員承認></p> <p>2 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（速報値）について 3 文化芸術に対する意識調査（インターネット調査）について ・事務局より、2つの調査について速報値（現時点の回収分・単純集計）について説明。</p> <p>○委員： ・調査対象の1,000名はどのように決めたものなのか。</p> <p>○事務局：</p>	

・12月1日時点で18歳以上の市民1,000名に対し、無作為抽出でお送りしている。

○委員：

・男女比が女性の方が多くなっている。

○事務局：

・特別に男女比等に関して、条件を出して抽出しているわけではない。現行計画を策定する際に実施したアンケート調査の際は回答率33.2%であり、今回5割近い回答をいただいているため、少なからず文化に関心があると考えている。

○委員長：

・アンケートを発送する際に回答する方に対し景品のようなものはあったのか。

○事務局：

・アンケートを送付する際にボールペンを同封している。

○委員：

・女性の方が回答率は高いようである。

○事務局：

・年代別の割合を見ると、70歳代が最も多く、年代が低くなるにつれて割合が少なくなっている。

○委員：

・半数以上が50歳以上である。

○委員：

・インターネット調査の問3の「文化芸術を鑑賞・体験する以外に大切にしていることがある」が0%だが、何も大切にしているものがないということか。

○委員：

・文化芸術に関心がない人は、他の分野などに興味があるからではという趣旨で設問項目を設けたが回答が得られなかった。

○事務局：

・インターネット調査では「文化芸術を鑑賞・体験する以外に大切にしていることがある」を選択した場合、自由記入が必須になるため、記入することを避けられてしまった可能性はある。

○委員：

・具体的な選択肢があれば選んでいただけたかもしれない。

○委員：

・結果として、文化芸術以外に大切にしていることがないという回答が得られているた

め、気にしても仕方がないのではないか。

○委員：

- ・背景としては、子育てが忙しいとか、スポーツに興味があるからなどの理由があるのではないか。

○委員：

- ・他に大切にしている分野などの項目があったほうが親切だったと思う。

○委員：

- ・6ページ以降の詳細項目について、音楽と演劇ではそもそも鑑賞した人数の母数が違うため、それも考慮したグラフで表現していただきたい。

○事務局：

- ・各分野の母数が異なっていることが分かるように修正させていただく。

○委員：

- ・グラフの最大値が120%で表現されているものがあるため、統一した方がよい。

○委員：

- ・人数を入れればよいのではないか。

○事務局：

- ・グラフ表現を検討して修正させていただく。

4 「平成29年度 施策・事業評価（平成28年度分）」調査結果について

- ・9ページ【2-3-2】利用しやすい施設の提供より続き。

【基本方針2 施策3 文化芸術を発信する機会・環境の提供⑧】

○委員：

- ・「交通機関等アクセス方法の検討」について、シャトルバスの運行等の取組みが実施されているが、交通アクセスがよくない文化施設が多いため、市民まつりに限らず、恒常的にアクセスの改善をする必要がある。駐車場を確保することでアクセスの利便性を高めることを検討していただきたい。

○委員：

- ・「中高生特化館」とはどのようなものか。

○事務局：

- ・内容に関して未確認であるが、中高生向けの児童館として、バンド活動などを実施してみたい子ども達等が利用しているという話は聞いている。

○委員：

- ・評価の理由に中高生への周知が不足しているとあるため、小学生の利用しかないとい

うことか。

○委員：

- ・中高生に特化しているにも関わらず、利用している中高生自体が少ないということだ
と思う。

○委員：

- ・管財課の公共施設予約サービスの評価がBについてはどうか。

○事務局：

- ・現状では、目標としているものが明確ではないため、どのような基準で評価をしてい
るのかという意見でもよいと思う。

○委員：

- ・具体的な目標や評価方法について、追記するようにしていただきたい。

【基本方針 3 施策 1 文化財の保存と継承⑨】

○委員：

- ・「下野谷遺跡の価値と魅力をわかりやすく伝えるデジタルコンテンツを制作した」と
あるが、実際に見てみてみないと分からない。これは市が購入したのか。

○事務局：

- ・全額補助金で実施している。

○委員：

- ・公用地化をした後の展開としては、どのように考えているのか。

○事務局：

- ・遺跡跡地は広い範囲だが土地の買収については市の予算の関係もある。今後の展開に
ついての詳細は把握できていない。

○委員：

- ・文化財委員会でも発言したことがあるが、市内の暗渠になっている川を市役所周辺だ
けでも通常の川に戻してもらいたいと思う。千川上水などでは清流に戻す取組が行わ
れている。

○事務局：

- ・白子川含めて3本の川が流れているが、現時点では暗渠の川に戻す話は出ていない。

○委員：

- ・郷土資料室も場所は不便だが、来室者が前年度よりも182人増えたのはよいと思う。

○委員：

- ・スマートフォン用まち歩き・防災アプリ「いこいな西東京ナビ」を用いたイベント

の平成29年3月31日時点のユーザー数2,175とは、どのように評価すべきなのか。1日あたり5人程度であり、多いのか少ないのか判断できない。

○委員：

- ・登録者のカウント数であり、利用回数ではないと思う。

○事務局：

- ・アクセス数は別にカウントしていると思う。防災アプリだが、まち歩きをしながらスタンプラリーできるイベントや健康・高齢者向けの機能を追加したことにより、登録者数が増えたことを評価している。

○委員：

- ・便利なものなので、もっと活用してもらおう工夫をしていくべきである。

○委員：

- ・2,000人程度でA評価をするのは評価が甘いと感じる。

○委員：

- ・将来的にはカウント数も含めて評価に含めてほしい。

【基本方針3 施策2 地域の伝統文化についての検討⑩】

○事務局：

- ・ちょうど先週末がどんど焼きで大勢の方にお越しいただいた。

【基本方針4 施策1 文化芸術を支える人材の育成と仕組みづくり⑪】

○委員：

- ・アートミーるの取組みは、ボランティアの会員数も増えて事業が実施できているが、この先、上手く進めていかなければ、せっかくの良い取組が続かなくなってしまう。今後の方向性がもう少し見えた方が良いのではないか。

○委員：

- ・文化ボランティアはたくさんの方が参加していただいている素晴らしいと思う。

○委員：

- ・保谷こもれびホールの会場係ボランティアは今後も増やしていく方向性なのか。現状で十分なのか、それとも増やしていこうと考えているのか。

○事務局：

- ・限定的な活動になってしまっていることもあるため、ボランティアの活動の幅を広げていきたいと考えている。

○委員：

- ・実際に公演の際にボランティアの方に活動していただき助かっている。ボランティアも増加して欲しいし、ベテランの方が若い人たちを育てていくようなシステムができ

るとよい。

○委員：

- ・需要を市民団体の活動にも広げていくと活発になってよいと思う。

○委員：

- ・文化ボランティアの制度化も引き続き実施し、ボランティア数の増加や質の向上を図ってもらいたい。

○委員：

- ・文化振興課で様々な文化芸術イベントの情報を収集したとあるが、その後、市の文化芸術の関わりとして、具体的にどのように展開していくのかが見えるとよいと思う。

○委員：

- ・アマチュアの団体は自主運営で実施しているが、少しでも支援していただけるように予算を増やしていただきたい。

○委員：

- ・取組みの概要に「専門的なアドバイスを行う」に対して、評価の理由が「実施できた」では対応していないのではないか。具体的に記述して欲しい。

【基本方針 4 施策 2 文化芸術を支える人材の活用⑫】

○委員：

- ・施策 1 文化芸術を支える人材の育成と仕組みづくり⑪と内容が同じである。

○委員：

- ・文化ボランティアの活用の概要にある「市民の多種多様な文化芸術活動を支援するボランティア」とは、実績にあるような会場ボランティアのことになるのか。

○事務局：

- ・実績にある内容は市民文化祭で活動していただくボランティアやアートミーアの活動のほか、中高校生に参加していただいているものである。要請した側から役割を割り振って活動していただくものも含まれる。

○委員：

- ・芸術文化に関わる活動をしている専門的な人材を紹介していただけるようなものではないのか。

○委員：

- ・活動のサポートをしていただける方のことである。

○委員：

- ・社会教育課の人材情報は重要な部分だが、なかなか難しいようでB評価となっている。市の人材をどのように活かしていくのか。社会教育課だけの問題ではなく、市全

体として、市民との協働を考えていくべきだと考える。

○委員：

- ・ボランティアとして登録していただいても、活動の場がないということか。

○委員：

- ・団体の作品展示などでも人手がないため、ボランティアの方に協力していただきたい。

○委員：

- ・自主企画講座とは具体的にどのようなものか。

○事務局：

- ・社会教育課の人材情報では、例えば、昔、書道の先生をしていた方が定年退職されて、地域で書道を習いたいという方がいれば教えますよと登録していただいている方が、講座を開設して実施しているものである。

○委員：

- ・公民館などで地域の方向けに講座を開いているものだと思う。

○委員：

- ・公民館の評価の理由と今後の展開がよく分からないため、具体的に記述して欲しい。

【基本方針 4 施策 3 青少年や高齢者の文化芸術活動の支援⑬】

○委員：

- ・「高齢者いきいきミニデイ事業」で活動費の一部を報償費として負担し、支援したというのは、どのような支援になるのか。

○事務局：

- ・高齢者クラブと連合会の団体ごとに補助金制度がある。活発に活動している団体もあるが、クラブ数も登録人数も減少傾向にあると聞いている。

○委員：

- ・市として健康都市宣言を打ち出し、生きがい推進事業などが増加していくのはよいと思うが、団体は減少傾向にあるということである。各取組を分けて捉えるのではなく、今後も高齢化が進む中で、事業と団体の活動を上手くつなげていくことなどもあってよいのではないか。

○委員：

- ・高齢者クラブの活動も市報に掲載されているのか。

○事務局：

- ・市報には掲載されていなかったと思う。市の方には高齢者クラブの名簿一覧等ではご紹介できると思う。

○委員：

- ・旅行ツアーの支援があるとよいと思う。

○事務局：

- ・飲食を伴うものやお祝事に支援するものではなく、事業の中で活動する団体に対する支援である。高齢者の団体は新規の人が入りづらい傾向もあるため、体操などの簡単な活動から仲間ができて、新しい活動の場ができればという趣旨である。集まりがあったも登録するまでに至らないものもあるようである。

○委員：

- ・コミュニティ活動の難しさもあると思うが、活動したい人が参加できるような場がある市にできるとよい。

【基本方針 5 施策 1 活動団体の交流機会の創出⑭】

○委員：

- ・先程と同じように、公民館の記述が不十分であるため、具体的な内容にして欲しい。

○委員：

- ・公民館の管轄はどこになるのか。

○事務局：

- ・公民館は柳沢にある中央公民館が取りまとめている。

○委員：

- ・利用者懇談会の本来の目的は指定管理者が利用者の意見を聞いてよりよい施設にしていくことだが、副次的に施設を利用する団体同士の情報交換にもなっている。

【基本方針 5 施策 2 国際文化交流の促進⑮】

○委員：

- ・外国人の市の計画がどれだけ伝わっているのか。文化体験フェスティバルも外国人の団体やサークルの人は参加するが、一般の人は少ないように思う。

【基本方針 5 施策 3 近隣市や姉妹都市・友好都市との交流促進⑯】

○委員：

- ・多摩六都フェアで実施していたリレーマラソンが昨年の12月に実施した際は連携ではなく、西東京市単独で実施した。連携はできなかったが、西東京市として取組みを継続していることを評価しても良いのではないかと。

○事務局：

- ・昨年度までは多摩六都で実施していたが、他市との温度差があったために今年度は単独開催となった。

○委員：

・子ども体験塾については東京都の多摩・島しょの予算で実施しており、今年度の水をテーマにしたものは範囲が広がり過ぎてしまうと思う。昨年度は西武線をテーマにしてすごく面白い取組みだったため、今後も西武線をテーマにした取組ができるとよいと思う。

○委員：

・映画制作では小ホールを利用しているが、大ホールで実施して欲しい。大画面で見ることが映画の醍醐味である。

○委員：

・友好都市の観光物産展は人気だが一部の人にしか知られていないようである。もう少し多くの人に知ってもらえるとよい。

【基本方針5 施策4 市内関係機関等との連携⑰】

○委員：

・教育機関とのイベントの連携の中で、市民文化祭に子ども達も参加してもらっているが、先生の個人的な意向によって参加が決まっているようなので、もっとシステムとして連携できないか。

○事務局：

・教育機関側の所管は教育指導課か教育支援課である。教育内容は教育指導要領に則って実施しているため難しい部分がある。対話による美術鑑賞で関わりがあったため、これまで実施できた部分もあるが、教育指導要領の変更や教員の時間も限られている中で、求められていることと、できることの調整が必要であるとは考えている。

○委員：

・学校のスケジュールや先生が忙しいことも分かるが、連携するための調整を図るセクションがあれば、教育委員会との連携もスムーズに実施できると思う。学校や先生方のスケジュールもあると思うが、学校との調整を図るセクションがあっても良いのではないか。

○委員：

・市内事業者との連携の充実について、「東京田無ロータリークラブ」主催の版画展の記述がないのはなぜか。市内のほとんどの小学校が出品しており、市長賞なども出しているの、取組みとして出していくべきではないか。

○事務局：

・市も関わっていると思うが、所管課から集めた文化芸術に関わる事業の中に上がって来なかった。意見としていただければ所管課に確認して相談したい。

○委員：

・MOA美術館西東京市児童先品展など、市長賞として出しているものは後援などしていると思うので、一覧で出してみてもよいと思う。

【基本方針5 施策5 文化芸術分野の専門家との連携⑱】

○委員：

- ・西東京市には出身者、在住者含め、素晴らしい芸術家の方がいるため、ホームページ等で紹介できるようになるとよい。世界的に活躍している方もいるため、そういう人たちが市にいることをアピールしていけば、子ども達への支援などにも活用していけると思う。

○委員：

- ・西東京市に在住していながら、活躍している場所は市外である場合が多いようである。

○委員：

- ・アンケートでも、文化芸術に関心のある方が多かったため、活動の場もあると思う。市内在住の芸術家に地域で活動してもらう機会が作っていけるとよい。そういった人材活用があってもよいのではないか。

○委員：

- ・この委員会に対する評価はないのか。

○事務局

- ・これまではそのようなものを設けていなかった。

○委員：

- ・自主評価でも事務局による評価でもよいため、どのような活動をしているのかを知って欲しいし、活動をチェックすることも必要である。

○委員：

- ・傍聴者の方に意見を書いてもらうことがあってもよいと思う。

5 その他

○事務局：

- ・次回第6回委員会は2月21日（水）同じ場所での開催を予定しており、施策・事業評価が終了したため、アンケート調査の結果などについて報告する。

以上

《閉会》